

和歌山市 名草地区(北部) 土砂災害ハザードマップ

いざというときに備え、実際に避難所まで歩いてみましょう!

土砂災害ハザードマップの活用について

このマップは、地域のみならず適切に避難できるように、土砂災害のおそれのある区域、避難所、避難経路などの避難に必要な情報を地域の状況を踏まえ、作成しています。市から配布済みの各種マップといっしょに大切に保管しましょう。

マップについて

地域の事情を踏まえ、円滑に避難するための目安となるように避難先(避難場所、市指定でなく近隣住民で選定している場所)、避難経路等の必要な情報を掲載しています。

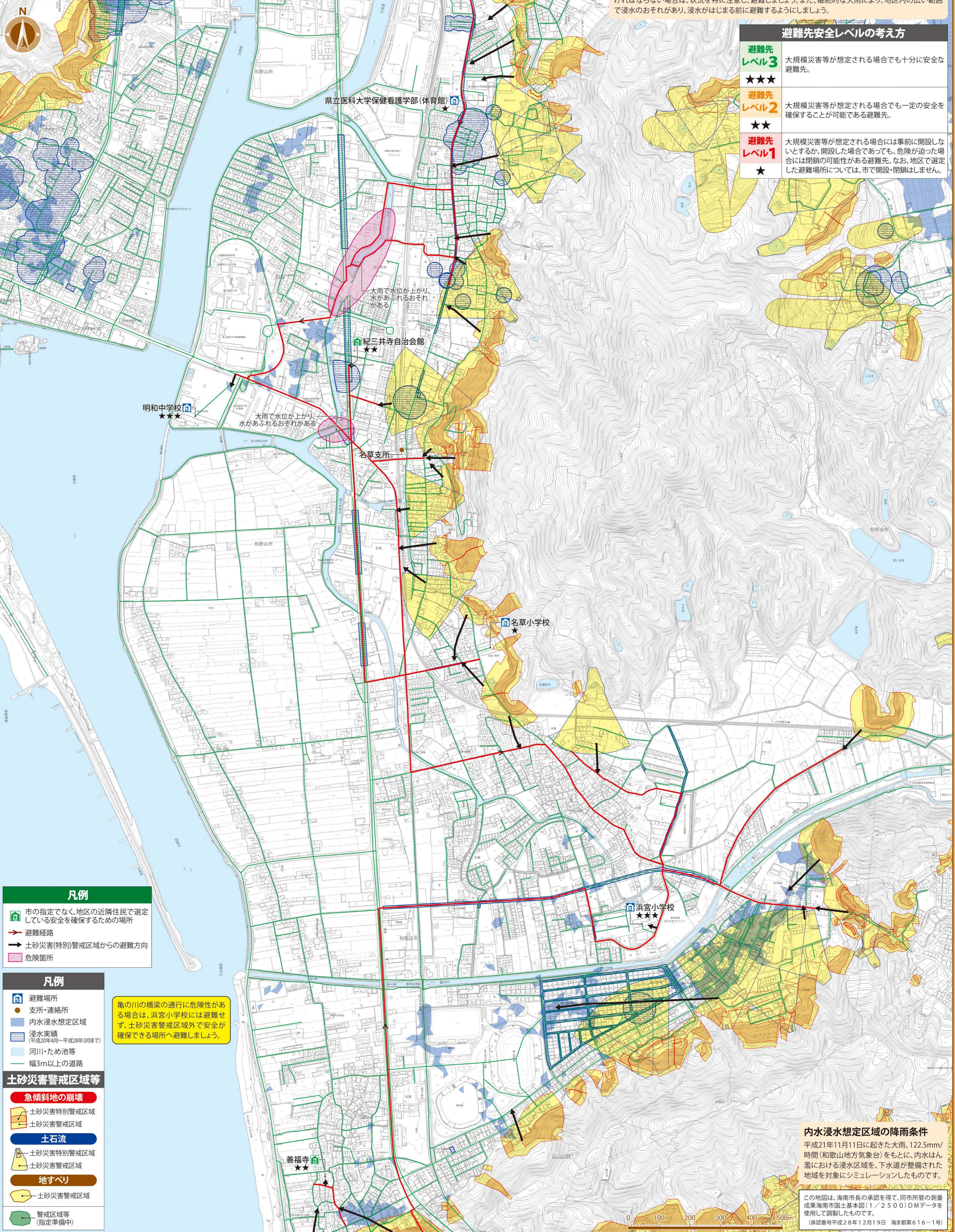
- ・このマップは国土基本図をもとに編集し作成したものです。
- ・マップ上の情報は、表示の有無、表示位置、範囲、形状などについて、現状と異なる場合もあります。
- ・また、この地図に表示された諸条件は、土砂災害(特別)警戒区域(和歌山県公表)、内水浸水想定区域(市公表)を使用して調製しています。実際の土砂災害や浸水は表示している区域と異なる場合があります。

避難するときに気をつけること

地区内の山間部付近では、かけ崩れや落石等の危険性があるとともに道路が通行できないおそれがあり、避難に注意が必要です。やむをえず土砂災害警戒区域や土砂災害特別警戒区域内の道路を通過して避難しなければならない場合は、状況を特に注意し、避難しましょう。また、継続的な大雨により、地区内の広い範囲で浸水のおそれがあり、浸水がはじまる前に避難するようにしましょう。

避難先安全レベルの考え方

避難先 レベル3 ★★★	大規模災害等が想定される場合でも十分に安全な避難先。
避難先 レベル2 ★★	大規模災害等が想定される場合でも一定の安全を確保することが可能である避難先。
避難先 レベル1 ★	大規模災害等が想定される場合には事前に開設しないとするか、開設した場合であっても、危険が迫った場合には閉鎖の可能性のある避難先。なお、地区で選定した避難場所については、市で開設・閉鎖はしません。



凡例

- 市指定でなく、地区の近隣住民で選定している安全を確保するための場所
- 避難経路
- 土砂災害(特別)警戒区域からの避難方向
- 危険箇所

凡例

- 避難場所
- 支所・連絡所
- 内水浸水想定区域
- 浸水実績(平成20年4月~平成28年3月まで)
- 河川・ため池等
- 幅3m以上の道路

土砂災害警戒区域等

- 急傾斜地の崩壊
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域
- 土石流
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域
- 地すべり
- 土砂災害警戒区域
- 警戒区域等(指定準備中)

亀の川の橋梁の通行に危険性がある場合は、浜宮小学校には避難せず、土砂災害警戒区域外で安全が確保できる場所へ避難しましょう。

内水浸水想定区域の降雨条件

平成21年11月11日に起きた大雨、122.5mm/時間(和歌山地方気象台)をもとに、内水はん濫における浸水区域を、下水道が整備された地域を対象にシミュレーションしたものです。

この地図は、海南市長の承認を得て、同市所管の測量成果海南市国土基本図(1/2500)DMデータを使用して調製したものです。
(承認番号平成28年12月19日 海ま都第616-1号)